

# 4. 安全・安心で働きがいのある環境

背景となる社会環境の変化：①人口構成の変化、②出生数と合計特殊出生率、③労働力人口の変化、⑤健康寿命、⑦事故とその原因、⑨地球温暖化への対応

働く環境では、現在・将来にわたり際限がなく安全性の向上が求められ、事故防止・事故被害軽減に向けた取組が緊急かつ永続的に重要な課題である。そして、団塊世代が定年を迎え産業労働人口は減少するにつれ、高度な機械化・情報化の進展、体力・筋力、言語などが異なる様々な人の共同作業、少人数での作業など労働環境は大きく変化し労働者の心身へのストレスは増大し、ストレス軽減に向けた取組が必須となる。また、仕事と育児・家事・介護との両立を目指し、どこでも仕事ができる環境の創出に向けた取組も重要である。

## 達成するための技術

- ・誰でも自由に仕事ができる環境の整備
- ・安全・安心を向上させる技術
- ・労働負担を軽減する技術

## 将来のゴール

- ・年齢・性別・言語に関係なく共同して働ける
- ・安全・安心に心身へのストレスなく働ける
- ・少ない労働力でも高い労働生産を実現する

## ロードマップ

